

千葉開府900年記念 ロゴマーク・ キャッチコピー

受賞結果発表！

千葉市のまちとしての歴史は、1126年（大治元年）6月1日に千葉常重が現在の中央区亥鼻付近に本拠を構えたことに始まり、2026年度は千葉開府900年の節目を迎えます。

これから「千葉開府900年」に向けてさまざまな記念事業を行っていきますので、そのシンボルとなるロゴマークとキャッチコピーを、人気投票によって決定しました。最優秀賞のロゴマークとキャッチコピーは千葉開府900年のPRのために広く活用されます。

千葉開府900年記念メンバーシップの募集も実施しています(8面)。千葉開府900年に向けてみんなで一緒に盛り上げていきましょう。
 閩都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5534

ロゴマーク部門

最優秀賞



作者コメント

赤色は自ら未来を切り開き千葉市を開いた千葉一族の胆力の色。
 水色はコアジサシがエサをとるために飛び込む海の色。
 ピンク色は千葉市の市の花、オオガハスの色。
 茶色は千葉市の市の木、ケヤキの太くたくましい幹の色。
 丸を重ねることで、人とまちが共に歩いていく様を表しています。
 市の鳥であるコアジサシを模したマークを右肩上がりで00をくぐりながら飛ばし、千葉市が明るい未来へ切り進んでいくことを表しています。

キャッチコピー部門

最優秀賞

千の葉に 時を刻んで 900年

作者コメント

1994年、私は千葉市に主人と4才と1才の子どもとともに引越してきました。そして人生の大切な時間をここ千葉市で過ごしました。千葉の歩みと私たち家族の歩みが重なります。
 「千の葉」という言葉がとても大好きでこの言葉をぜひキャッチコピーにしたいと思い応募することにしました。たくさんの小さい葉は太陽の光を浴びて大きな力となります。千葉市民のひとりひとりの小さい力を集めたこれからの千葉の歴史の瞬間を目撃したいと思います。

ロゴマーク部門 優秀賞



キャッチコピー部門 優秀賞

- 歴史に学ぶ、未来を創る。900年都市▶千葉
- 千年につなぐ今、900年
- 千葉開府900年。変わらないもの。変わるもの。

チャレンジスピリット賞

ロゴマーク制作ワークショップに参加した小学生の作品などすべての応募作品の中から、動乱の時代に挑戦し、自ら未来を切りひらいた千葉一族の精神を感じさせるような斬新なアイデアを対象に審査員が選定しました。

ロゴマーク部門



キャッチコピー部門

900年目！
こんにちば！